

第373回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和4年12月22日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

このたびの市議会定例会におきましては、11月28日の開会以来、25日間にわたり、条例制定等や指定管理者の指定、各会計補正予算など多数の重要案件について、ご審議をいただきました。

この間、議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

本定例会初日にご承認をいただきました補正予算により、物価高騰への緊急対策として、市民生活や農業者を守るためのさらなる支援を進めています。高校生世代を対象とした給付金については、すでに対象世帯に申請書を発送し、申請の受付を進めており、今月26日に支給を開始します。飼料や肥料の高騰によ

り大きな打撃を受けておられる農業者への支援についても、順次申請書を発送し、申請の受付を進めており、1月下旬から支援金の交付を開始する予定です。物価高騰の中、大きな打撃を受けておられる方々を支援するため、これらの給付金等を可能な限り早期にお届けできるよう引き続き進めてまいります。

さて、市では、このたび地域課題の解決を図るため、先端技術を有する民間事業者として、世界初の匂いを数値化することができる企業、「株式会社香味発酵」が三木市に移転していただくこととなりました。同社から提案を受けた課題解決のための取組としては、1つ目がイノシシやアライグマなどが好む匂いや嫌う匂いなどの開発による鳥獣害対策、2つ目が認知症患者特有の臭覚の情報データ分析による認知症の早期発見対策、3つ目が農業被害をもたらす虫の嫌いな匂い成分の分析による病害虫対策です。これらの実証事業を進め、課題の解決につながるよう、市と同社が連携して進めてまいります。この取組については、市内の事業者との連携により新たなビジネスが生まれる波及効果も大いに期待しているところです。

行政と民間事業者が連携して、それぞれの強みを生かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、まちの魅力や住

民満足度の向上を図ることができると思います。今年度は、10月から、株式会社アシックス及びT O A株式会社と連携した子どもの交通事故を減らすための実証事業を開始しており、また、音響通信技術の研究・開発を行っている企業、エヴィクサー株式会社と連携した認定こども園等の送迎用バスでの置き去りを防止するための実証事業を今月15日から開始したところです。今後も、課題の解決に向けて、民間事業者との連携をさらに進めてまいります。

また、三木地域の中心市街地において、近接している中央公民館、市民活動センター、高齢者福祉センター、さらに細川町瑞穂に立地する高齢者大学・同大学院を集約した複合施設の整備について、三木商工会館も加え、三木商工会議所も参画するかたちで検討していくこととなりました。このたびの施設の複合化は、設置目的が類似する近隣施設の機能を集約することで利便性及び市民サービスの向上を図るとともに、施設稼働率の向上による効率的な管理運営を図ろうとするものです。複合施設の整備に向けて、民間事業者から施設の活用アイデア等について情報収集を行う、「サウンディング型市場調査」の募集を、昨日から開始したところです。民間事業者から幅広く意見を求め、施設利

用者の利便性の向上、施設周辺地域のにぎわいの創出及び活性化に加え、市の財政負担を最大限軽減できる事業手法などについてのアイデアを提案いただきたいと考えています。「サウンディング型市場調査」での民間事業者からの提案も踏まえ、今後、複合施設整備の基本計画をまとめてまいります。

年の瀬もいよいよ押し迫り、本年も余すところあとわずかとなってまいりました。

議員の皆さま、市民の皆さまには、どうか健やかなる新年をご家族お揃いでお迎えになられることをご祈念申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。